

令和 6 年度紀の川市水道事業決算の概要 (計画値との比較)

令和 7 年 1 0 月
紀の川市上下水道部

◆経営成績（収益的収支）・・・P3

◆投資状況（資本的収支）・・・P4

◎建設改良費の状況・・・P5

◆財政状態・・・P6

◆評価まとめ・・・P7

◆経営成績

収益的収支（令和 6 年度損益計算書より抜粋）

（単位：千円）

科 目	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	前年度比較	経営戦略計画値	比較	評価コメント
収入	1, 493, 071	1, 550, 128	-57, 057	1, 478, 504	14, 567	
給水収益	1, 107, 194		-74, 374		-39, 185	
（基本料金免除なしの場合）	(1,193,444)	1, 181, 568	(11,876)	1, 146, 379	(47,065)	前年度より約7, 400万円減少していますが、これは物価高騰対策による3か月間の基本料金免除が要因であり、免除なしで試算した場合は計画値を上回ります。
他会計繰入金	148, 302		88, 721		94, 936	
（基本料金免除なしの場合）	(52,756)	59, 581	(- 6,825)	53, 366	(- 610)	前年度より約8, 900万円増加していますが、これは基本料金免除分を補填するための一般会計繰入金が要因であり、免除なしで試算した場合は計画値と同程度となります。
受託工事収益	61, 579	106, 789	-45, 210	100, 000	-38, 421	
加入金	42, 291	56, 978	-14, 687	47, 908	-5, 617	
長期前受金戻入	109, 175	112, 218	-3, 043	104, 705	4, 470	
その他	24, 530	32, 994	-8, 464	26, 146	-1, 616	
支出	1, 347, 220	1, 344, 859	2, 361	1, 345, 783	1, 437	
施設維持管理経費	524, 808	482, 992	41, 816	444, 852	79, 956	前年度より浄水場電気使用料や配給水管等修繕費が増加したため、計画値を上回りました。
人件費	153, 301	153, 121	180	162, 722	-9, 421	
受託工事費	56, 480	97, 784	-41, 304	100, 000	-43, 520	
減価償却費	527, 240	517, 487	9, 753	530, 164	-2, 924	
支払利息	62, 667	68, 818	-6, 151	68, 112	-5, 445	
その他経費	22, 724	24, 657	-1, 933	39, 933	-17, 209	
当年度損益	145, 851	205, 269	-59, 418	132, 721	13, 130	計画値を若干上回っており、黒字を維持することができました。

◆投資状況

資本的収支

(単位：千円)

4

科 目	令和 6 年度決算	令和 5 年度決算	前年度比較	経営戦略計画値	比較	評価コメント
収入	331,697	486,676	-154,979	417,868	-86,171	
企業債	137,700	216,000	-78,300	196,500	-58,800	
補助金	34,577	58,515	-23,938	45,600	-11,023	
工事負担金	12,886	22,666	-9,780	10,000	2,886	
一般会計出資金	146,534	189,495	-42,961	165,768	-19,234	
その他資本的収入	0	0	0	0	0	
支出	891,784	1,123,514	-231,730	981,961	-90,177	
建設改良費	335,755	537,822	-202,067	432,964	-97,209	経営戦略の計画期間開始から令和 6 年度までで平均 5.6 億円の投資（建設改良）を実施しています。 ※計画は R1～10 年度で約 50 億円
企業債償還金	556,029	585,692	-29,663	548,997	7,032	
その他資本的支出	0	0	0	0	0	
資本的収支	-560,087	-636,838	76,751	-564,094	4,007	収支のマイナス幅は計画値より少なくなっています。

◎建設改良費の状況

令和元年度 資本的支出 建設改良費 539,567,253 円

(主な工事)	
・登尾配水池電気計装設備更新工事	109,670,000 円
・粉河中央配水池ポンプ計装盤更新工事	15,651,900 円
・切畑低区配水池移設工事	49,351,500 円
・切畑低区配水池造成及び配管移設工事	24,874,300 円
・貴志川浄水場4号ろ過池更新工事	48,015,000 円

令和3年度 資本的支出 建設改良費 456,537,644 円

(主な工事)	
・国道24号3工区配水管布設替工事	68,948,000 円
・市道畑野上枇杷谷線送配水管布設替工事	107,328,100 円
・粉河高区配水池更新1期工事	46,178,000 円
・桃山町調月地区配水管布設替工事	9,037,600 円
・貴志川浄水場無停電電源装置更新工事	40,645,000 円

令和5年度 資本的支出 建設改良費 537,821,737 円

(主な工事)	
・国道24号1工区配水管布設替工事	141,372,000 円
・花野尾崎地区(1-1工区)送水管布設替工事	94,547,200 円
・県道粉河加太線三谷橋水管橋布設替工事	67,373,900 円
・粉河高区配水池更新3期工事	30,658,100 円
・貴志川浄水場急速ろ過機設置2期工事	63,936,400 円

令和元年度～6年度合計 3,370,134,146 円

令和2年度 資本的支出 建設改良費 826,336,217 円

(主な工事)	
・登尾配水池発電機更新工事	50,783,700 円
・県道泉佐野打田線(1工区JR和歌山線)配水管布設替工事	48,298,800 円
・麻生津取水井工事	50,805,700 円
・桃山中央監視装置更新(上水道)工事	259,930,000 円
・貴志川浄水場防水修繕工事	24,995,300 円

令和4年度 資本的支出 建設改良費 674,115,922 円

(主な工事)	
・国道24号2工区配水管布設替工事	94,602,200 円
・粉河中央監視システム更新工事	174,989,100 円
・粉河高区配水池更新2期工事	139,977,200 円
・大原口地区導水管配管替工事	18,964,000 円
・貴志川浄水場急速ろ過機設置工事	62,568,000 円

令和6年度 資本的支出 建設改良費 335,755,373 円

(主な工事)	
・花野尾崎地区(1-2工区)送水管布設替工事	108,619,500 円
・市道花野団地1号線配水管布設替工事	24,415,600 円
・荒見地区送水管布設替3期工事	26,296,600 円
・貴志川浄水場1号緩速ろ過材洗浄更新工事	29,425,000 円
・貴志川町前田地区配水管布設替工事	22,438,900 円

令和元年度～6年度平均 561,689,024 円

◆財政状態（令和6年度貸借対照表より抜粋）

6

（単位：円）

科 目		金 額	科 目		金 額
資産の部	固定資産	14,641,331,196	負債の部	固定負債	4,773,797,353
	有形固定資産	14,140,472,956		企業債①	4,773,797,353
	土地	978,770,035		リース債務	0
	建物	470,605,656		流動負債	650,727,814
	構築物	10,044,251,462		企業債②	504,056,000
	機械及び装置	2,381,913,895		リース債務	1,593,900
	車両運搬具	7,012,751		未払金	131,508,074
	工具器具及び備品	11,952,537		引当金	13,134,000
	リース資産	7,860,826		その他流動負債	435,840
	建設仮勘定	238,105,794		繰延収益	2,560,844,772
	無形固定資産	858,240		長期前受金	2,560,844,772
	施設利用権・電話加入権	858,240		負債合計	7,985,369,939
	投資その他の資産(有価証券)	500,000,000		資本金	7,723,057,788
	流動資産	1,962,832,517		自己資本金	7,723,057,788
	現金預金	1,847,098,221		剰余金	895,735,986
	未収金	130,738,666		資本剰余金	47,461,371
	貸倒引当金	△ 15,556,430		利益剰余金	848,274,615
	貯蔵品	552,060		減債積立金	0
	前払金	0		建設改良積立金	276,000,000
	その他流動資産	0		当年度未処分利益剰余金	572,274,615
資 産 合 計		16,604,163,713	資本合計		8,618,793,774
			負債・資本合計		16,604,163,713

◎実質的資金残高（流動資産－流動負債＋有価証券）の計画値

経営戦略計画値の令和2年度の資金残高（現金預金＋有価証券）を

流動資産－流動負債＋有価証券：1,568,413千円に入れ替えて以下のとおり算出する。

（単位：千円）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
現金収支		10,457	-97,462	33,919	20,429	-18,480	-23,084	-4,606	-34,382
実質的資金残高	1,568,413	1,578,870	1,481,408	1,515,327	1,535,756	1,517,276	1,494,192	1,489,586	1,455,204

（単位：円）

	令和6年度決算	令和5年度決算	前年度比較	経営戦略計画値	比較
実質的資金残高 (有価証券含む)	1,812,104,703円	1,730,062,104円	82,042,599円	1,535,756,000円	276,348,703円
企業債①②	5,277,853,353円	5,696,182,775円	-418,329,422円	5,410,906,000円	-133,052,647円
企業債残高対 給水収益比率 (基本料金免除なし) ※企業債①②/給水収益	477% (442%)	482%	-5% (-40%)	472%	5% (-30%)



	評価コメント
実質的資金残高 (有価証券含む)	計画値より資金を確保できています。
企業債①②	年平均5.6億円の投資（建設改良）を行いながら、企業債残高は計画値を下回っています。
企業債残高対 給水収益比率	計画値を下回っています。

◆評価まとめ

経営成績・投資状況は、計画どおり投資（建設改良）を行いつつ、収益的収支で黒字を確保している状況です。また、財政状態は資金残高が計画値を上回っています。